

提案・評価項目表

視点	項目	評価基準	配点
(1) プロジェクト全体管理等	進捗管理	複数のプロジェクトが進行中、各プロジェクトの遅延に対して予防、リカバリ、再発防止等を行うための進捗管理について示された内容が具体的で効果的なものとなっているか。	15
	品質管理	各プロジェクトの成果物の品質を保つための品質管理について示された内容が具体的で効果的なものとなっているか。	15
	コスト管理	費用対効果等を踏まえて全体費用が適正なものとなるためのコスト管理について示された内容が具体的で効果的なものとなっているか。	10
	全体調整	プロジェクト横断的な課題の解決やシステム間連携・切替に関する関係者調整等のため、横断協議の支援及び特定の課題を解決するためのタスクフォース会議支援等について示された内容が、具体的で計画的・効果的なものとなっているか。	15
	課題解決・リスク低減	福岡市が課題と考えている事象や自治体情報システム標準化の影響等に対して、知見を活かして、どのように課題解決やリスク低減に活用できるか具体的に効果的なものとなっているか。	10
	知見の蓄積・継承	知見・ノウハウを蓄積し、職員へ継承するための方法が具体的で、職員の立場に寄り添った現実的な内容となっているか。	10
(2) 実施体制、実績等	実施体制	業務遂行責任者(本業務の主な担当者)が明確にされており、かつ、その者は政令指定都市において、PMO支援業務またはそれに類する業務を遂行した経験を有しているか。 実施体制が明確に示され、かつ適切な人員配置が行われているか。また、緊急時等におけるバックアップ体制が整っているか。	10
	役割分担	各作業段階に応じて、福岡市の作業内容と提案者の作業内容が具体的で妥当なものか示されているか。 関係する職員の負担が少なくなるように効率的で、現実的な内容になっているか。	5
	実績	令和3年4月以降から現在に至るまで、政令指定都市において、PMO支援業務またはそれに類する業務を実施した実績を有しているか。 自治体情報システム標準化対象となるプロジェクトにおいて、PMO支援業務またはそれに類する業務を実施した実績を有しているか。	5
(3) その他	追加提案等	知見・ノウハウを活かした、本業務の実施に有効、有益な留意事項や追加提案等が具体的に示されているか。	5
		令和9年度から令和13年度の本業務の遂行にかかる見込費用及びその根拠が具体的に記述されているか。またそれが適切か。	
技術点			100
(4) 価格	価格点	見積額(契約金額の上限-自社の提案価格)/(契約金額の上限-提案価格のうち最低価格)×満点(5点)※小数点第3位は切捨て	5
(5) 地場企業の活性化	地場企業加点	福岡市に主たる事務所(※)を有しているか。 ※本店、支店、支社、営業所などを指す	5
合計(技術点+価格点+地場企業加点)			110